

一木・一草・一石
亀明園 株式会社

造園・土木設計施工
宮城県知事許可(特-12)第10493号

かわら版 2009 秋 VOL.13

「ひらがなの庭」

里山にススキがそよぎ、赤とんぼが飛び交う秋の風情が感じられる昨今、皆様には益々ご清祥の事とご察し申し上げます。又、近年の異常気象に依る自然災害で各地で多くの被害に遭われた皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

異常現象と言えば、当地でも、夏の盛りに高く美しく鳴くヒグラシの声が聞かれませんでした。日暮れに「カナ・カナ」と鳴くセミです。これも気象界で何かが起こっている警鐘なのかも知れません。今回は「カナ・カナ」にちなんで「平仮名と片仮名」をテーマに致したいと思います。

かねてよりひらがなを美しい文字だと私の中で感じており、いつかひらがなをテーマにした庭を造ってみたいと思っておりました。広辞苑によりますと”漢字の草体から作られた草の仮名をさらに崩して作った文字で、主に女性が用いたので女手（おんなで）と呼ばれた”とあります。庭造りも女性的な感性で優美にしなやかに、それでいて凛とした気品も盛り込まなければなりません。そこに共通するものがあるはずです。ひらがなの”ら”や”な”等は特に美しい文字だと感じます。ちなみに自庭の枯流れは”ん”の文字でした。ひらがな目線で眺めていたら、川玉石で”ん”を無意識のうちに描いており、20m程ある枯流れですが深みを感じ、とても好きな眺めです。五十音の終焉の文字だからかも知れません。ラインの取り方や寄植、地模様での具象的な造り込みも良いし、ひらがなに込められた、柔らかでしなやかな手指（女手）の庭もあっていい筈です。

又、カタカナは漢字を省略して作った文字とあります。

阿→ア 伊→イ 宇→ウ 江→エ 於→オ となり

省く文化は庭も同じです。枯山水の庭等も省略しつくした空間作りで宇宙までも表現されています。そして、この時代に来てSimple・is・bestであると見直されているのは、欲しい物と必要な物の価値観を分別し、実用の美を極める。省くという日本人にしか持ち得ない感覚なのかも知れません。謙虚で素直な日本人として生を受けた事に感謝です。

これからも、ご恩返しに五十音の庭を奏（カナ）でて参ります。

斎藤 千明

Events・Info

社の都づくり
第63回

西公園 秋の植木市

期間:10月3日(土)~10月18日(日)
会場:西公園(旧市民図書館前広場)

モデル庭園展示

伊達な庭vol.7は「平成スタイルのモダン農芸」をテーマに禅の庭や畠、製材による建築廃材の背板の利用など庭を観る機能だけではなく、そこで作業経過が楽しめる空間を作ります。遊・触・観の庭をぜひともお楽しみ下さい！



富谷町W邸 伊達な庭vol.4

シリーズ①
第十三話



日本造園アカデミーG3視察

日本アカデミー会議「造園シンポジウム」が仙台において開催されました。2日目の8月20日(木)現地視察として、当社の庭広場「グリーン・ゲート・ガーデン(G3)」に会員41名の皆様が来園しました。御手洗達雄氏による特別講習会(宮城県造園建設業協会青年部主催)で氏の指導の下、青年部会員で作庭した“湯布院の景”を御手洗氏にご説明いただき、子どもの森、ベジタブルガーデン、庭戯など計20ヶ所のテーマ別ギャラリーを見学。その後社長宅の水琴窟や庭へと足を運びました。北は岩手、南は大分、広島と遠方からいらした会員の方々は植生や剪定の違いなどにも多く関心を寄せていました。

※日本造園アカデミー会議について

<http://www.jflc.or.jp/index.php?catid=6&blogid=1>

上)湯布院の景を前に日本アカデミー会議会員の集合写真
左下)講演中の御手洗氏 右下)水琴窟に耳を澄ますメンバー



ガーデンルームキャンペーン!!

サンルームやテラスがあればお庭の空間がもっと魅力的に!お庭と住まいをゆるやかにつなぐ縁側空間はお茶のみ、読書スペースの安らぎの場ともなり、物干しなどの生活機能も果たしてくれます。

大橋のぞみちゃんがCM中のTOEX「ガーデンルーム商品」ご成約の方に抽選で素敵なプレゼントが当たります!キャンペーン期間中は12/15まで。詳しくは<http://www.toex.co.jp>



シリーズ② 庭づくり 基礎と術

庭のお手入れ法 ～隔年開花対策～

昨年は見事なたくさんの花をつけてくれたのに今年はまったく咲かないというご経験の方が多いと思います。樹木にとって自己防衛の手段。多くの養分を費やしてしまった翌年は、結実を少なくするため、花芽の分化をおさえ自ら根の疲れを癒そうとします。対処法としてはまず花後の疲れをとってあげましょう。“今年もありがとうございます”と声をかけお礼肥。結実も体力を使うので食用・観賞用も実の小さなうちに摘果を行い、数量を調整します。又シャクナゲ、ツバキなどは冬季間に蓄の数を減らし、そのかわり翌年に花芽のつく枝に養分をまわし充実させます。

『りらく』10月号掲載

9月28日に発売された「りらく」10月号に当社で施工した庭が展示されています。子どもが遊べる、畑や花が楽しめるお庭になっております。ぜひひと庭作りの参考にご覧いただければ幸いです。



掲載された泉区K邸

ボタンは花が終わった頃から葉腋に翌年枝となって花をつける側芽ができるので6月上旬頃、下の方の芽2つを残してかき取るようにします。樹高の調整が可能になり、翌年も大きな花をつけます。中にはハナミズキ、ヤマボウシの様に若木のうちは隔年開花になりがちですが、成木になると良く花芽をつけるようになります。



発行 株式会社 竜門園

981-3111 宮城県仙台市泉区松森字前沼48-2

Tel. 022-373-3934(代)

Fax. 022-375-9622

E-mail info@ryumonen.co.jp

URL <http://www.ryumonen.co.jp>

庭広場 グリーンゲートガーデン (G3)

981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字油田4-1

Tel&Fax. 022-373-5554

●営業時間／午前10時～午後5時

●定休日／毎週月曜(月曜が休日の場合は翌火曜日)

●入場料／無料・専用駐車場有

